

2006年6月改訂  
(日本薬局方改訂に基く変更)



外用殺菌消毒剤

日本薬局方  
Benzalkonium Chloride Solution

塩化ベンザルコニウム液「タカスギ」10%

(ベンザルコニウム塩化物液、逆性石けん液) 18L

日本標準商品分類番号	872616
承認番号	16100AMZ03451
薬価基準収載	1986年6月
販売開始	1986年6月
再評価結果	1982年8月

〔組成〕

本品はベンザルコニウム塩化物 (C<sub>22</sub>H<sub>40</sub>ClN) 9.3~10.7w/v%含有する。

〔性状〕

無色～淡黄色澄明の液で、特異なおいがあり、振ると強く泡立つ。

〔効能・効果/用法・用量〕

1. 手指・皮ふの消毒：通常石けんで十分洗浄し、水で石けん分を十分に洗い落した後、ベンザルコニウム塩化物0.05~0.1%溶液に浸して洗い、滅菌ガーゼあるいは布片で漬拭する。  
術前の手洗いの場合には、5~10分間ブラッシングする。
2. 手術部位（手術野）の皮ふの消毒：手術前局所皮ふ面をベンザルコニウム塩化物0.1%溶液で約5分間洗い、その後ベンザルコニウム塩化物0.2%溶液を塗布する。
3. 手術部位（手術野）の粘膜の消毒、皮ふ・粘膜の創傷部位の消毒：ベンザルコニウム塩化物0.01~0.025%溶液を用いる。
4. 感染皮ふ面の消毒：ベンザルコニウム塩化物0.01%溶液を用いる。
5. 医療機器の消毒：ベンザルコニウム塩化物0.1%溶液に10分間浸漬するか、または厳密に消毒する際は、医療機器を予め2%炭酸ナトリウム水溶液で洗い、その後ベンザルコニウム塩化物0.1%溶液中で15分間煮沸する。
6. 手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒：ベンザルコニウム塩化物0.05~0.2%溶液を布片で塗布・漬拭するか、または噴霧する。
7. 腔洗浄：ベンザルコニウム塩化物0.02~0.05%溶液を用いる。
8. 結膜炎の洗浄・消毒：ベンザルコニウム塩化物0.01~0.05%溶液を用いる。

製造販売元

高杉製薬株式会社

福岡県糟屋郡粕屋町仲原2617  
TEL 092-621-1231(代表)

www.takasugi-seiyaku.co.jp

使用期限：

製造Lot.

〔使用上の注意〕

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
過敏症	発疹、そう痒感等

注) 左記のような症状が現れた場合には使用を中止すること。

2. 臨床検査値への影響

本剤で消毒したカテーテルで採取した尿はスルホサリチル酸による尿蛋白試験で偽陽性を示すことがある。

3. 適用上の注意

1) 人体

- A. 経口投与しないこと。
- I. 原液又は濃厚液が眼に入らないように注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。
- U. 濃厚液の使用により、皮ふ・粘膜の刺激症状があらわれることがあるので、注意すること。
- E. 炎症又は易刺激性の部位に使用する場合には、正常の部位に使用するよりも低濃度とすることが望ましい。
- O. 粘膜、創傷面又は炎症部位に長時間又は広範囲に使用しないこと。（全身吸収による筋脱力を起こすおそれがある）
- K. 密封包帯、ギプス包帯、バックに使用すると刺激症状があらわれることがあるので、使用しないことが望ましい。
- K. 深い創傷又は眼に使用する場合は希釈液としては、注射用蒸留水が滅菌精製水を用い、水道水や精製水を用いないこと。

2) その他

- A. 血清、膿汁等の有機性物質は殺菌作用を減弱させるので、これらが付着している医療機器等に用いる場合は、十分に洗い落してから使用すること。
- I. 石けん類は本剤の殺菌作用を弱めるので、石けん分を洗い落してから使用すること。
- U. 希釈液として塩類含量の多い水又は硬水を用いる場合には、通常用いる濃度の1.5~2倍の溶液として使用すること。
- E. 繊維、布（綿、ガーゼ、ウール、レーヨン等）はベンザルコニウム塩化物を吸着するので、これらを溶液に浸漬して用いる場合には、有効濃度以下とならないように新しい溶液を補給すること。
- O. 皮ふ消毒に使用する綿球、ガーゼ等は滅菌保存し、使用時に溶液を浸すこと。
- K. 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテル等への使用は避けることが望ましい。

〔薬効薬理〕

本剤は、使用濃度において、芽胞菌を除くグラム陽性・陰性菌及び真菌には有効であるが、結核菌及び大部分のウイルスに対する効果は期待できない。

〔取扱上の注意〕

1. 金属器具を長時間浸漬する必要がある場合は、腐食を防止するためにベンザルコニウム塩化物0.1%溶液に0.5%~1.0%亜硝酸ナトリウムを添加すること。
2. 皮革製品の消毒に使用すると、変質させることがあるので使用しないこと。

〔貯法〕

遮光した気密容器で保管すること。

GS1-RSS

調剤



(01) 0 4987298 15460 7

GS1-RSS

販売



(01) 1 4987298 15460 4